



一般社団法人日本脳卒中医療ケア従事者連合
Stroke Care Professionals Association Japan (SCPA-Japan)

理事長報告

理事長 宮本 享



一般社団法人日本脳卒中医療ケア従事者連合
Stroke Care Professionals Association Japan (SCPA-Japan)

2021年12月脳卒中の医療・ケアに関する組織的連携を目的として設立

- 一般社団法人 日本脳卒中学会
- 公益社団法人 日本脳卒中協会
- 一般社団法人 日本脳神経看護学会
- 日本ニューロサイエンス看護学会
- 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会
- 一般社団法人日本介護支援専門員協会
- 一般社団法人日本作業療法士協会
- 公益社団法人日本理学療法士協会
- 一般社団法人日本神経理学療法学会
- 一般社団法人日本言語聴覚士協会
- 公益社団法人日本薬剤師会
- 一般社団法人日本病院薬剤師会
- 公益社団法人 日本栄養士会



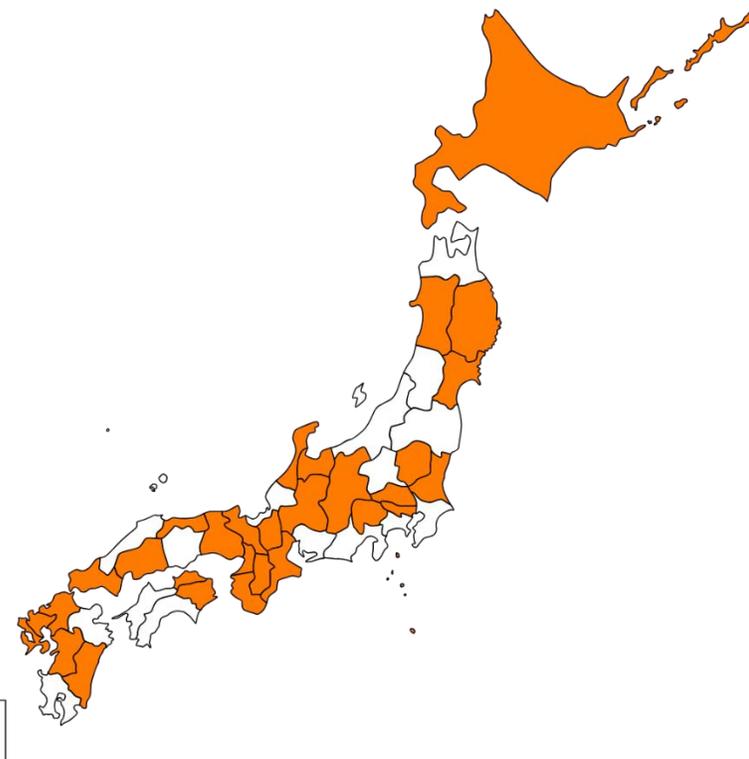


一般社団法人日本脳卒中医療ケア従事者連合
Stroke Care Professionals Association Japan (SCPA-Japan)

SCPA-J都道府県支部設置(準備中を含む) 30都道府県
(2024年9月1日現在)

SCPA Japan京都府支部

- 一般社団法人 京都府医師会
- 公益社団法人 日本脳卒中協会京都府支部
- 一般社団法人 京都医療ソーシャルワーカー協会
- 公益社団法人 京都府介護支援専門員会
- 一般社団法人 京都府理学療法士会
- 一般社団法人 京都府言語聴覚士会
- 一般社団法人 京都府作業療法士会
- 一般社団法人 京都府薬剤師会
- 一般社団法人 京都府薬剤師会 病院診療所部会
- 公益社団法人 京都府栄養士会
- 公益社団法人 京都府看護協会



職種間交流



SCPA-Japan京都府支部会議

- 第1回 2023.1
- 第2回 2023.3
- 第3回 2023.6
- 第4回 2023.9
- 第5回 2023.12
- 第6回 2024.3
- 第7回 2024.6

脳卒中相談窓口マニュアルに記載されたコンテンツの展開

2022年度

脳卒中相談窓口マニュアルの中で、

まずは疾患管理・予防に関する啓発・情報提供から着手

2023年度以後

脳卒中の特異な事情の配慮が必要な生活期支援

両立支援の整備

療養に関する説明と意思決定支援の連携整備



第2期循環器病対策推進基本計画 概要

全体目標

2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 循環器病の発症予防及び重症化予防
- 子どもの頃から国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
- 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進
- 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
- ② 救急搬送体制の整備
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
- ④ リハビリテーション等の取組
- ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
- ⑥ 循環器病の緩和ケア
- ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
- ⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
- ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
- ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

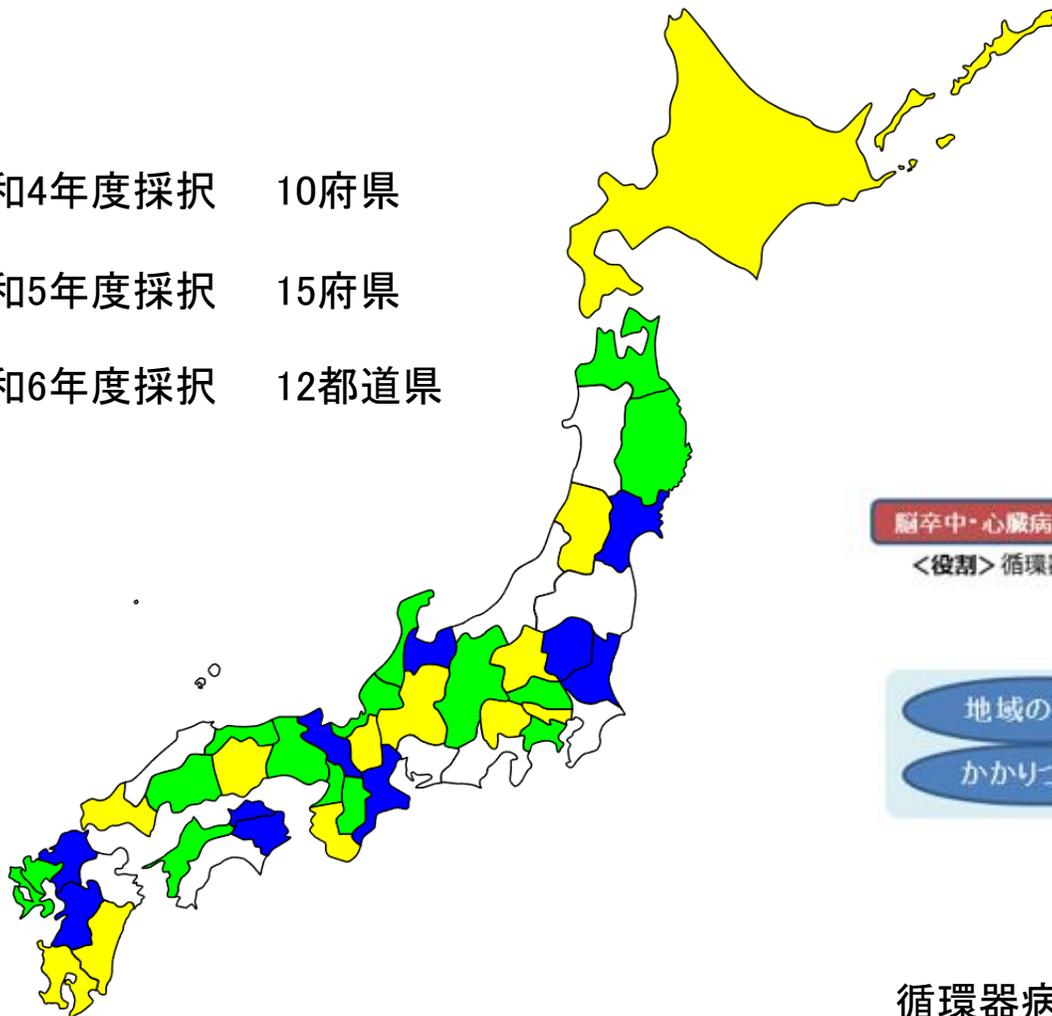
- (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- (2) 他の疾患等に係る対策との連携
- (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策
- (4) 都道府県による計画の策定
- (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
- (6) 基本計画の評価・見直し

<循環器病の特徴と対策>



脳卒中・心臓病等総合支援センター

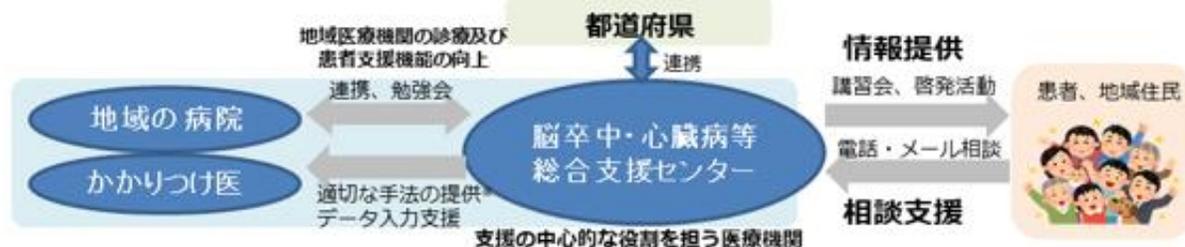
- 令和4年度採択 10府県
- 令和5年度採択 15府県
- 令和6年度採択 12都道県



脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討

<役割> 循環器病に関する情報提供及び相談支援の、地域における核となり中心的な役割を担う



循環器病対策推進基本計画の**患者支援に関する重点施策**を

各都道府県のハブとなって**行政・地域医療機関・各団体**と連携して進める

脳卒中・心臓病等総合支援センター事業と関連する研究班

令和5年度厚労科研費FA-18
回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援体制の充実・普及に資する研究(主任研究者:宮本 享)

脳卒中SWG

心臓病SWG



脳卒中・心臓病等総合支援センター事業
採択府県における実態調査

日本脳卒中学会

日本脳卒中医療
ケア従事者連合

日本循環器学会

日本心臓リハビリ
テーション学会

両立支援調査2023

令和5年度厚労科研費FA-18

回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援体制の充実・普及に資する研究(主任研究者:宮本 享)

● 対象府県

岩手県・宮城県・栃木県・富山県・京都府・福岡県・熊本県 の7府県

● 調査内容

当該府県のすべてのPSCおよび回復期リハビリテーション病院から直接自宅退院した脳卒中患者の復職率および両立支援の実施状況を調査

● 調査期間

2023年10月～2024年3月

フォローアップ期間:上記期間中の退院～6ヵ月後・18ヵ月後

● 期待される効果

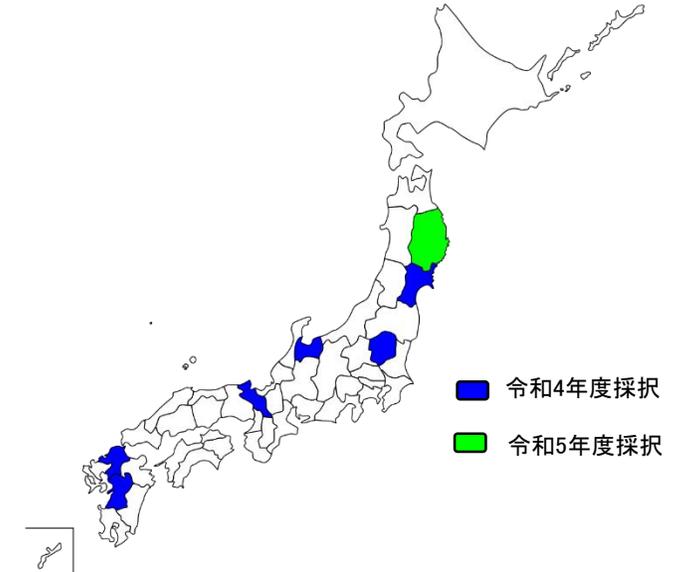
悉皆性のあるデータに基づいた 下記2点の把握

① 脳卒中後の復職率

② 「療養・就労両立支援料」の現実(算定状況や算定困難な理由)

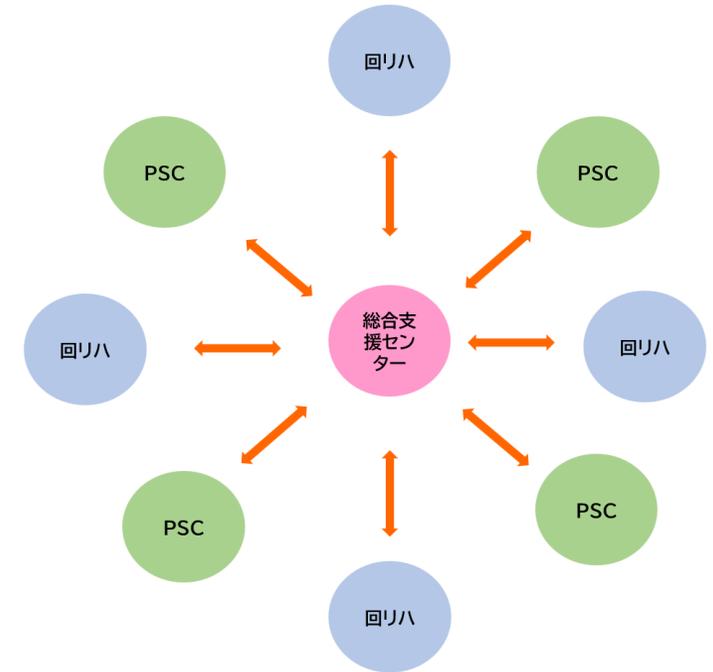
実働組織は

脳卒中相談窓口連携会議



脳卒中相談窓口連携会議

- ▶ **すべての**PSCおよび回復期リハビリテーション病院から
脳卒中相談担当MSWが指名されて組織
- ▶ 脳卒中・心臓病等総合支援センターはその**取りまとめ役**



1. 定期的なミーティング

2. 支援情報の共有・データ創出

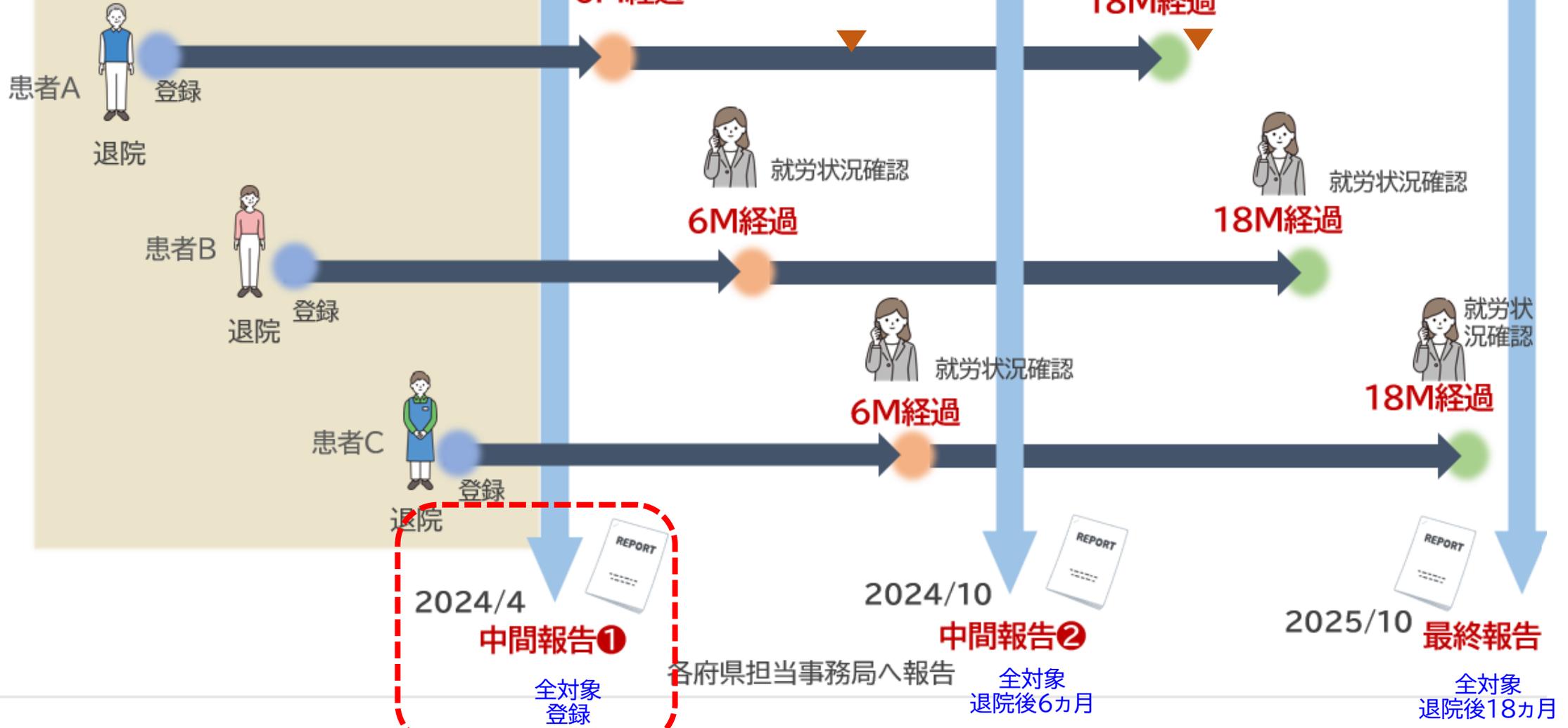
3. 患者・家族会への情報提供

4. 多職種との連携

両立支援調査2023

退院後6ヵ月・18ヵ月が経過した時点での就労状況を確認

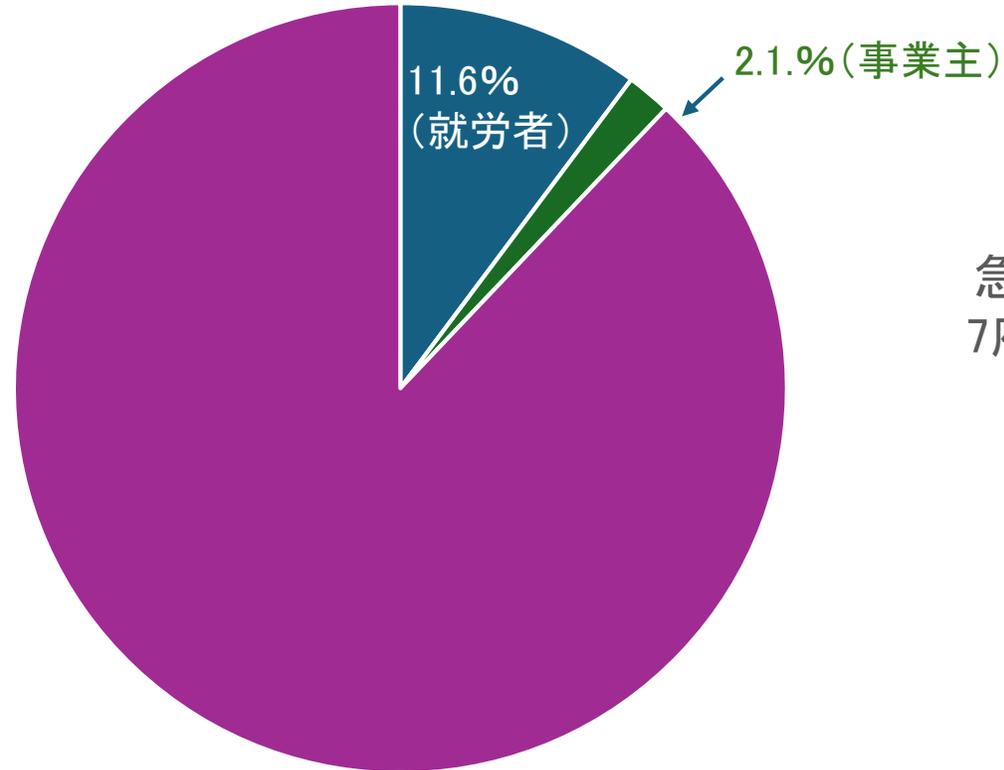
登録期間:2023/10~2024/3



急性期脳卒中患者に占める 自宅退院・69歳以下の就労者・事業主の割合

両立支援の潜在的対象者に相当
(急性期脳卒中の11.6%に
過ぎない)

→ **脳卒中にかかわる医療職は
両立支援を意識する必要がある**



急性期脳卒中患者数
7府県合計 15911名*
(2023年度下半期)

- 自宅退院した69歳以下の就労者
- 自宅退院した69歳以下の事業主
- その他

* 報告された患者数18181名から
PSC/回りハ双方での退院
ダブルカウントを省いた試算値

脳卒中患者に対する両立支援の課題

- がんを対象として 両立支援の体制整備が行われてきた
 - PSC/回りハ脳卒中相談窓口と産保センターの連携は 今後の課題
- 回りハ入院期間は短縮化され、退院時ゴールは主にADL自立による自宅復帰になっている
- 就労支援リハにかかわるPT/OT/STが療養・就労両立支援指導料の対象職種になっていない
- 高次脳機能障害について患者本人が理解できていないことがあり、復職後のハードルとなる
 - 退院後にこそ、復職のための就労支援が必要となるが、
就労支援を目的とした外来リハには、診療報酬上の限界があり、十分とはいえない

就労支援リハビリテーション調査

● 対象府県

脳卒中・心臓病等総合支援センターが設置されている11府県(岩手県+R4採択10府県)

● 調査内容

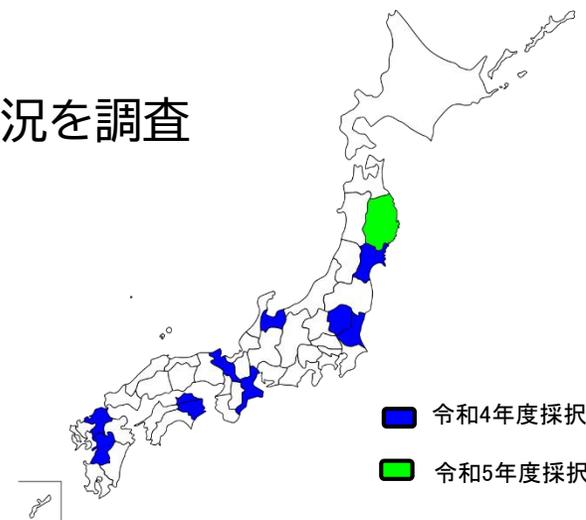
当該府県のすべてのPSCおよび回復期リハビリテーション病院から直接自宅退院した脳卒中患者に対するPT/OT/STによる就労支援リハの実施状況を調査

● 調査期間

2024年10月～2025年3月

● 調査協力

- リハビリテーションにおける職業訓練 日本理学療法士協会
- 作業療法による復職支援 日本作業療法士協会
- 失語症における復職支援 日本言語聴覚士協会

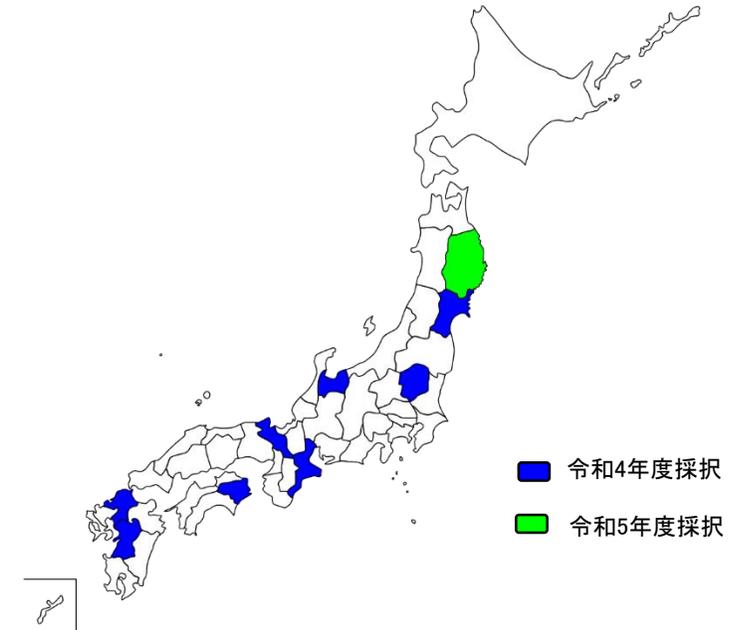


就労支援リハを必要とする患者数

指導料の対象外の職種によって、どの時期に・どれぐらいの頻度でどのような内容の就労支援が実際には行われているかを、悉皆性のあるデータで示す

意思決定支援調査2024

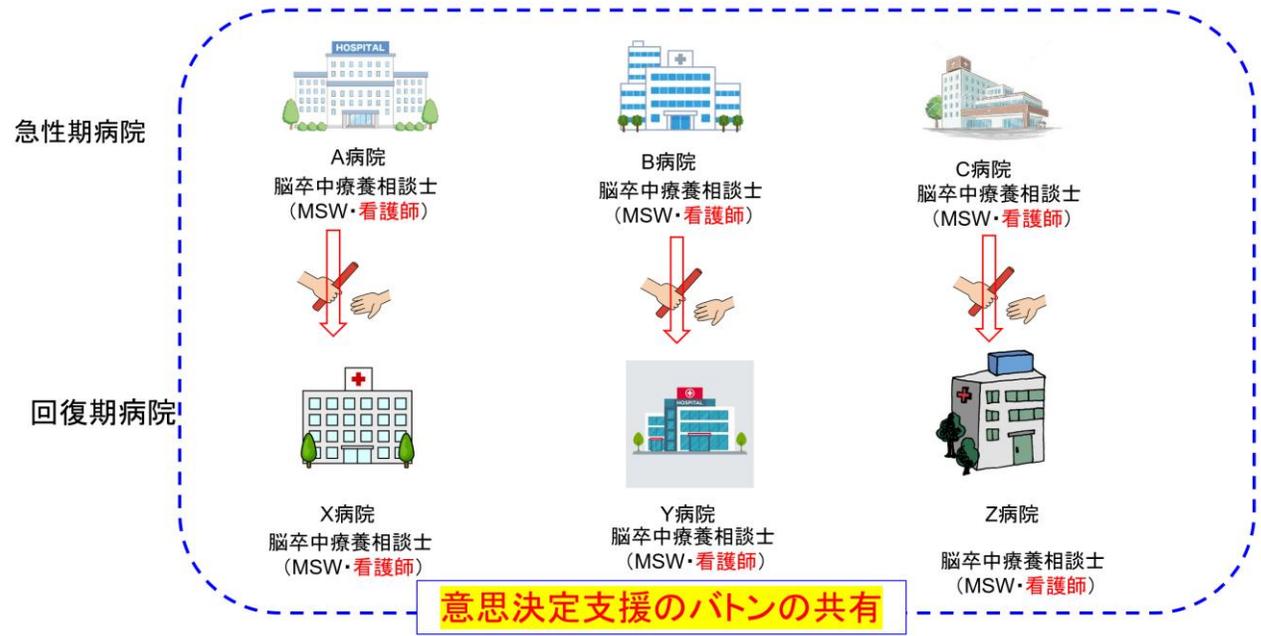
- 期間 2025年1-3月
- 対象府県：脳卒中・心臓病等総合支援センター事業が進捗し、
当該府県看護協会との連携が可能な9府県
- 対象患者
PSC/回りハから自宅に直接退院した患者
両立支援調査の結果からは、各病院6名相当と想定
- 主な調査項目 下記の件数
 - 発病前のACPを確認できた患者数
 - 緩和と療養に関する意思決定を支援できた患者数
 - 上記について、他機関と情報共有できた患者数



調査の目的： 意思決定支援とその地域連携が殆ど実施されていないという実態を明らかにする

- 調査行動の主体は、看護師を想定（調査により、PSC/回りハの脳卒中看護師連携会議を設立）
- 意思決定支援調査2025も同じ府県において実施することを想定

京都府脳卒中連携看護師会議with (公社)京都府看護協会



▲ 第1回連携看護師会議の様子 (約40機関から約80名が参加)

脳卒中患者に対する意思決定支援マニュアル(日本脳卒中学会)

2024年6月末完成予定



意思決定支援シート		患	
日時	年 月 日	患者さんの意見	
場所			
説明した人(職種)		家族等の意見	
立ち会った人(患者側)			
立ち会った人(医療・ケア側)		今回の話し合いの経緯	
説明内容			

図 12 意思決定支援内容の情報共有の一例 (意思決定支援シート)

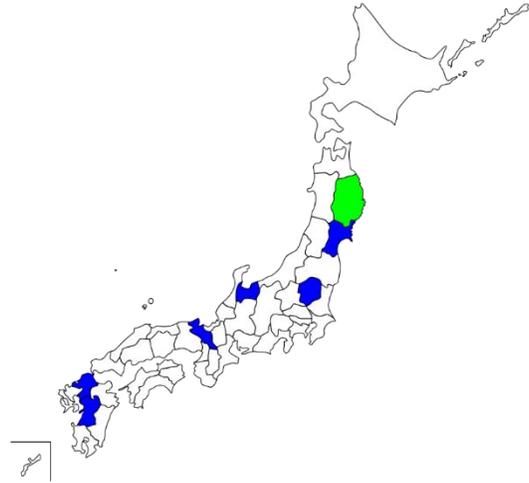
脳卒中患者・家族等が視聴する「脳卒中の緩和と療養に関する啓発動画」が2025年春に完成予定

	2022年度（令和4年度）				2023年度（令和5年度）				2024年度（令和6年度）				2025年度（令和7年度）				2026年度（令和8年度）			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
厚労科研研究	R5年度研究FA-18:総合支援センター・多職種連携班（宮本班）																			
	両立支援調査2023																			
	両立支援調査2024																			
	就労支援リハ調査2024																			
	意思決定支援調査2024												意思決定支援調査2025							
事業	循環器病総合支援センターモデル事業																			
																	後継事業？			

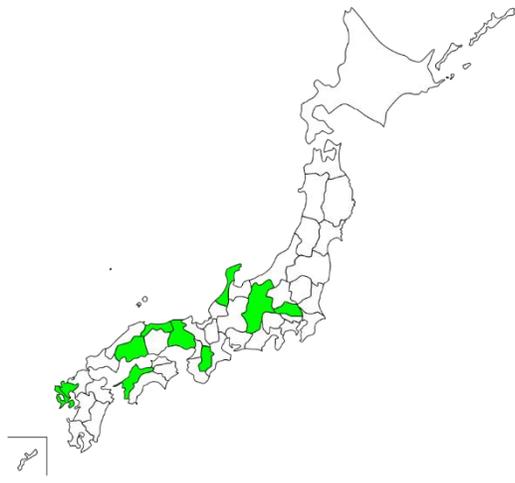
資材や組織がない現状の調査

啓発動画・マニュアル等(資材)や
脳卒中看護師連携会議(組織)が整備後の
意思決定支援に係る実態調査

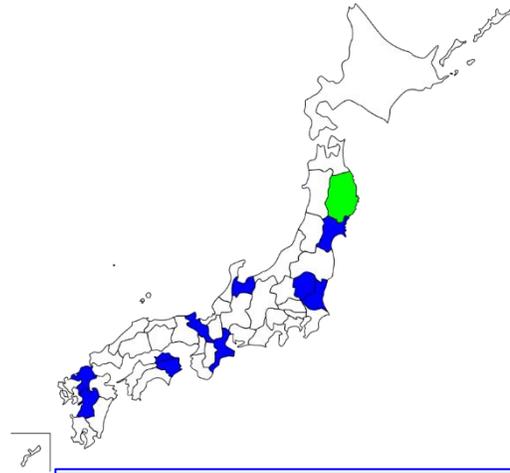
両立支援調査2023



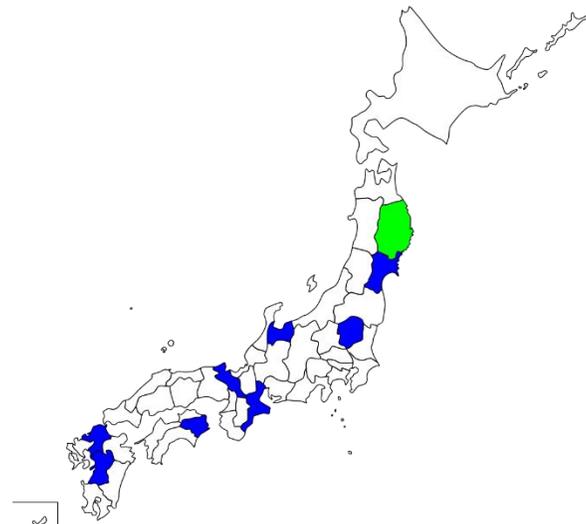
両立支援調査2024



就労支援リハ調査2024



意思決定支援調査2024



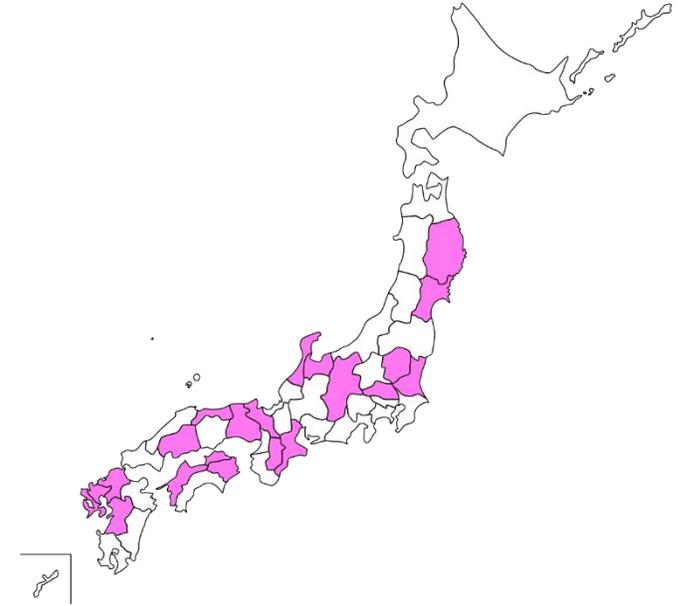
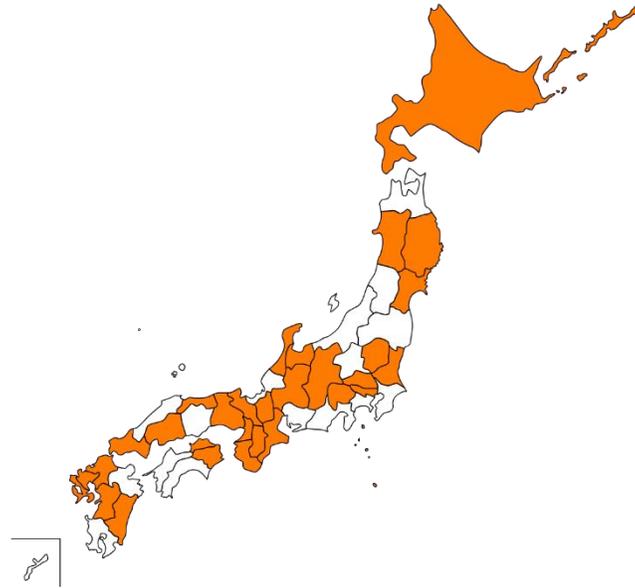
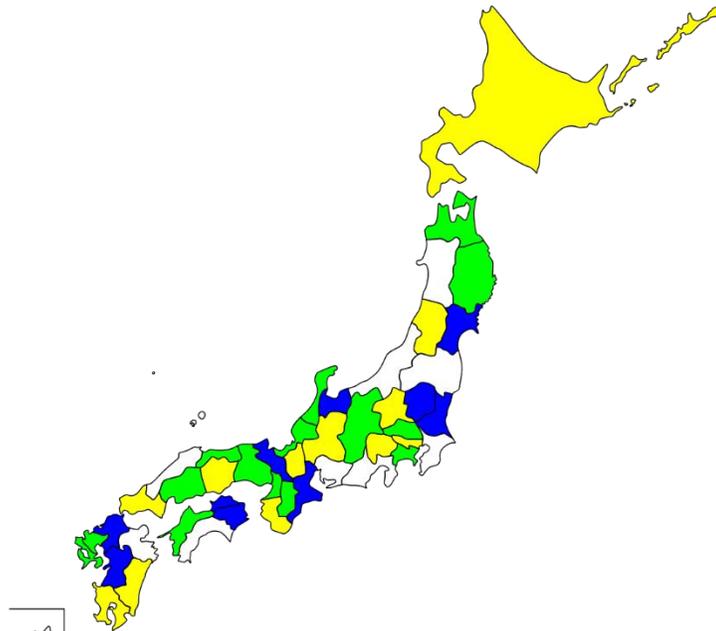
令和4年度採択府県

令和5年度採択府県

脳卒中・心臓病等総合支援センター

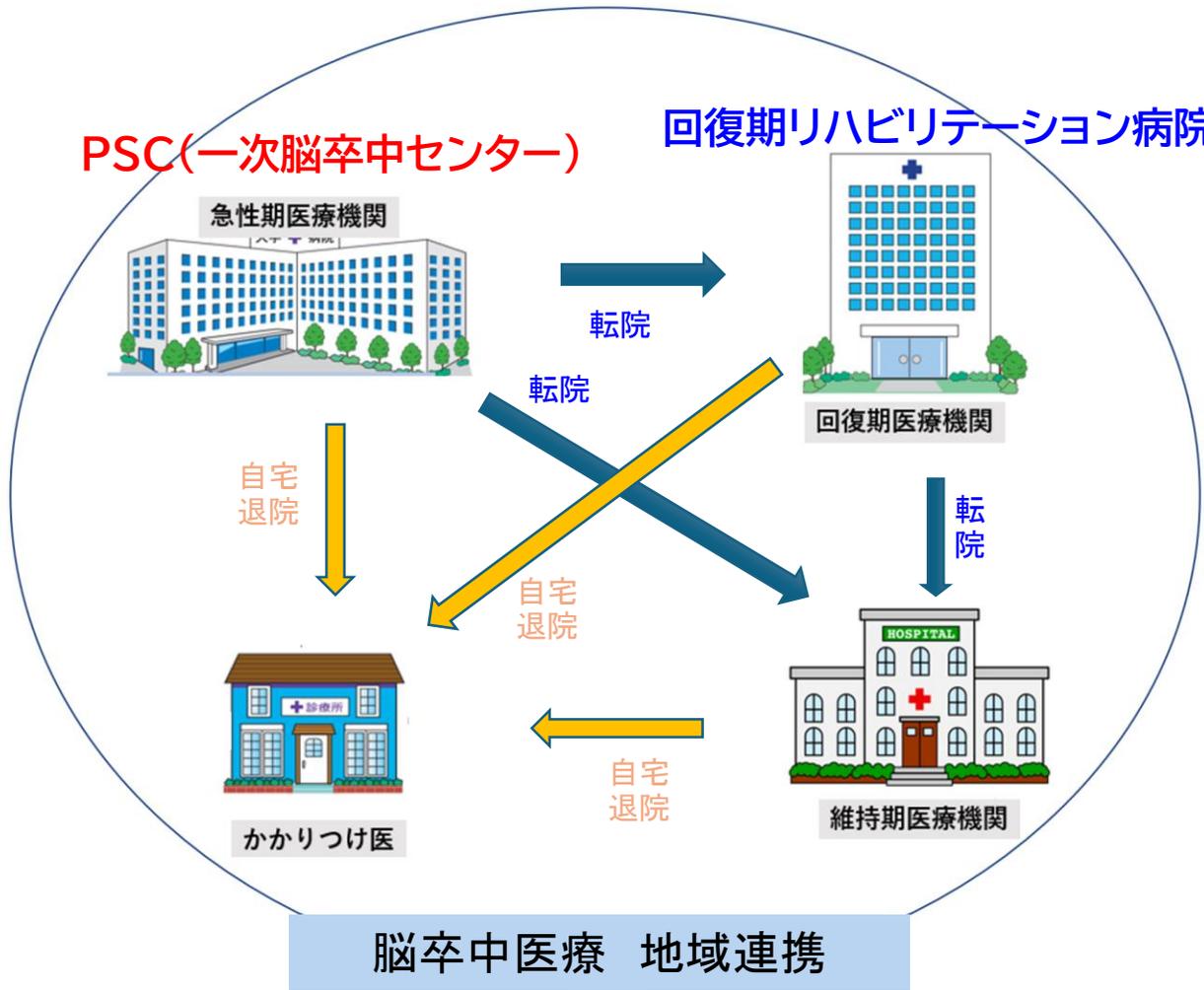
SCPA-J都道府県支部設置

脳卒中相談窓口連携会議



脳卒中・心臓病等総合支援センター事業 及び 厚労科研 調査事業により
都道府県単位での地域・多職種連携が大きく進んでいる

脳卒中医療・ケアは 地域連携と多職種連携



京都府 脳卒中にかかわる医療機関の連携会議

2022

2023

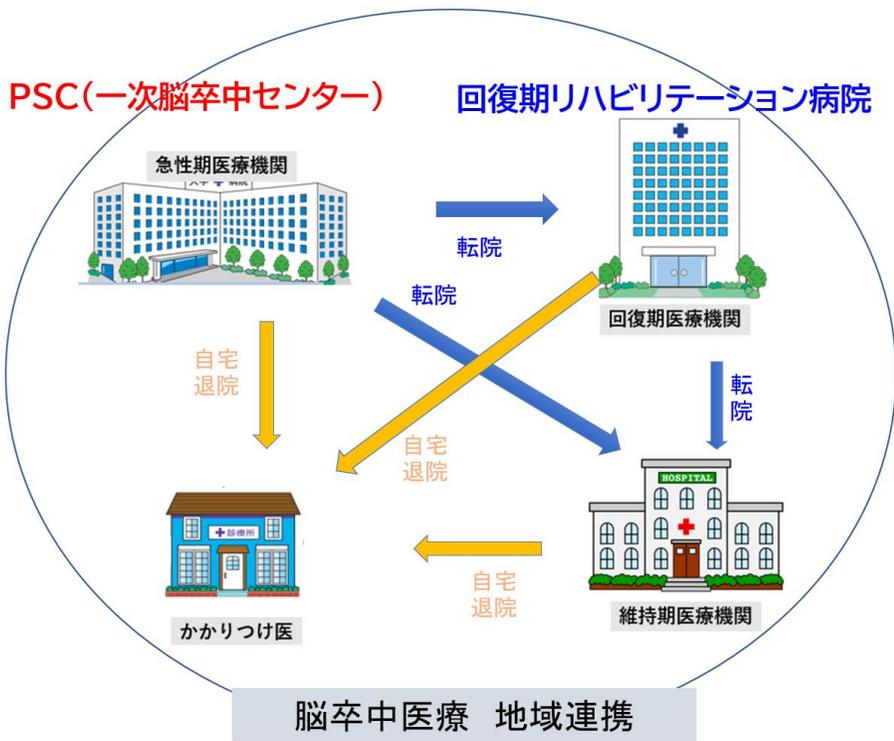
2024

PSC会議(診療責任者)

- 第1回
2022.10
- 第2回
2022.12
- 第3回
2023.3
- 第4回
2023.6
- 第5回
2023.9
- 第6回
2024.1
- 第7回
2024.4
- 第8回
2024.6

回リハ脳卒中連携会議(診療責任者)

- 第1回
2024.4
- 第2回
2024.9予定

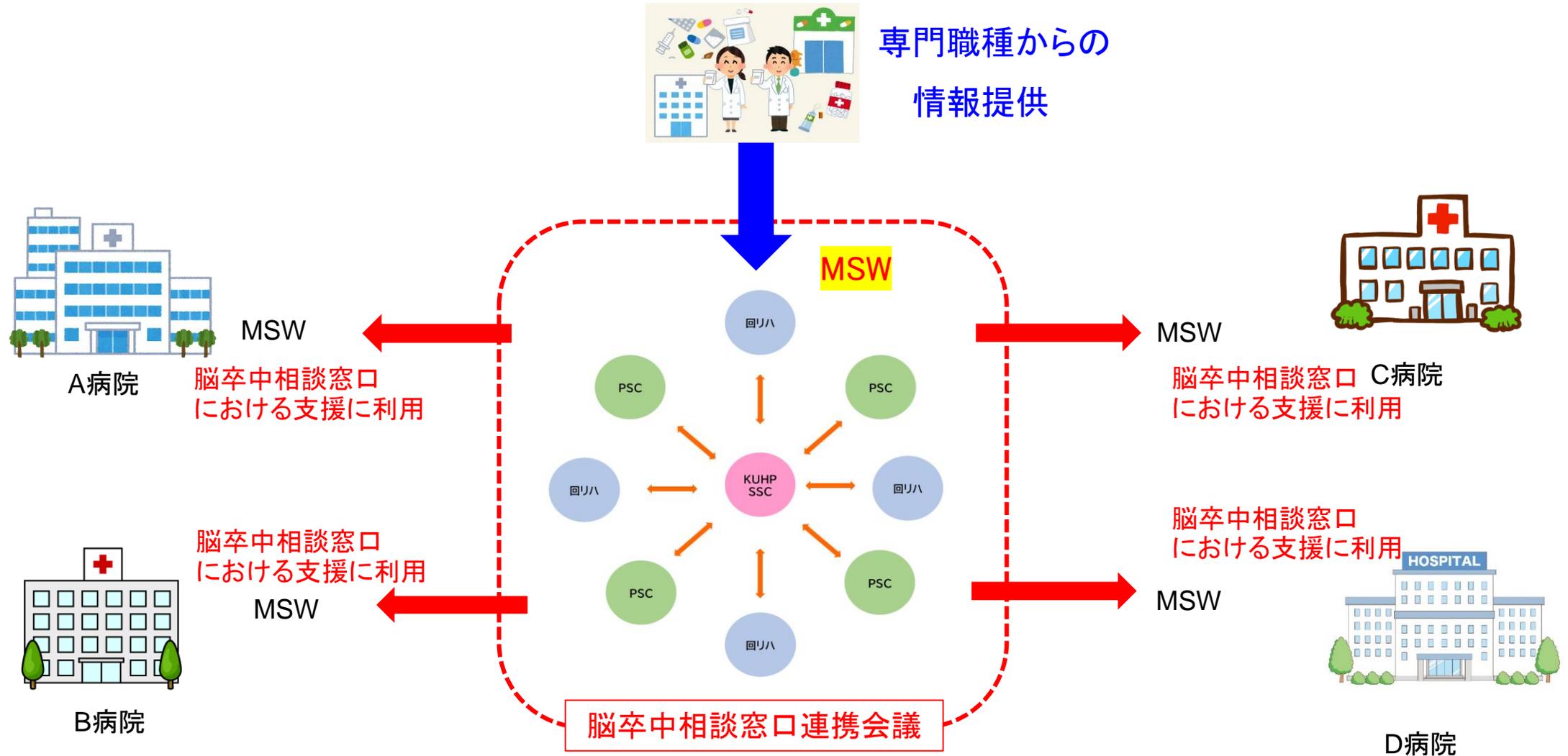


回復期リハ病院 脳卒中診療責任者会議

回リハ病院(病棟併設)機関すべてから、

担当者(院長もしくは脳卒中診療責任者)を選出

SCPA-Japan府県支部と脳卒中相談窓口連携会議をプラットフォームにした 専門職種情報の提供



専門職種のアイデア・情報を どの病院の脳卒中相談窓口でも情報提供

京都府 PSC/回復期リハビリテーション病院 専門職種の脳卒中連携会議

2023

2024

2025

脳卒中相談窓口連携会議 (MSW)

● 第一回 ● 第二回 ● 第三回 ● 第四回 ● 第五回

2023.5

2023.9

2024.1

2024.5

2024.7

- ▶ 両立支援調査・セミナー
- ▶ 摂食嚥下障害に関するアンケート調査
- ▶ 就労支援リハ調査

脳卒中連携薬剤師会議

● 第一回 ● 第二回 ● 第三回

2023.11

2024.3

2024.7

- 薬剤情報伝達や服薬ハイリスク患者
- 病院薬剤師とかかりつけ薬局の連携

脳卒中連携看護師会議

● 第一回 ● 第二回

2024.3

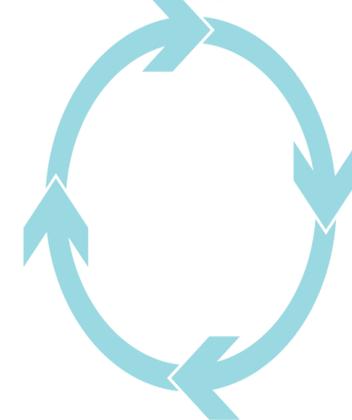
2024.9

看護サマリー内容に関する意識共有

多職種・
地域連携



職種間交流・循環



Take Home Message

SCPA-Japan都道府県支部に期待されるものとは

1) ネットワーク構築

地域における他職種との連携に関する
情報共有・意見交換・提案



“井戸端会議のようなシンクタンク”



- 2) 「脳卒中相談窓口連携会議」との連携による
各病院の脳卒中相談窓口への専門職種情報提供
- 3) 調査研究にあたり、各団体本部との情報共有